



く り おお や 大田市久利・大屋地区

人口も面積も異なる二つの地区が
お互いに補い合って生まれる新しい取組



地区紹介

- ・大田市街と石見銀山との中間に位置する両地区。
- ・連携のきっかけは大屋地区内のバス路線廃止。
- ・自治会輸送の共同運行を皮切りに様々な活動を開始。
- ・両地区が連携し、「久利・大屋地区の住民が、住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまち」を目指した取組が進んでいます。

私たちのやり方

Our Project



住民の移動手段の確保両地区共同で取り組む「デマンド型自治会輸送」

大屋地区内の路線バスの廃止をきっかけに、久利地区で既に実施していた自治会輸送を、令和3年4月から大屋地区にも拡大し、両地区共同での自治会輸送が始まっています。

Background これまでの地区のあゆみ

久利地区

大屋地区

H4 小学校合併 / 久利小学校と大屋小学校が合併し、久利地区内に「久屋小学校」が誕生 H4

H21 久利まちづくりセンター・大屋まちづくりセンターが開設
地域の課題解決に向けた自主的な取組を支援するとともに、市民と行政の協働により地域の活性化に向けたまちづくりの推進を図るため、各地区にまちづくりセンターが設置される H21

「大屋まちづくり推進委員会」を設立
地域内外との交流も兼ねた伝統文化芸能・歴史の継承や、道路沿いの花壇作り・除草作業などの環境美化を中心とした地域活動を実施

H24 「久利まちづくり推進協議会」を設立
住民主体の地域運営組織として、防災対策、地域交通対策、健康づくり・福祉事業等、地域課題解決のため幅広い取組を展開

H31 デマンド型自治会輸送の運行開始
久利まちづくり推進協議会において、地区住民を対象に自治会輸送の取組を開始

R2 草刈り等ボランティア「手ごし隊」を結成
草刈り・除雪等高齢者の生活支援のための住民ボランティアとして取組を開始



R3.3 大屋地区バス路線の廃止
地区内唯一の公共交通機関であったバス路線が令和3年3月末をもって廃止となる R3.3

R3.4 両地区共同によるデマンド型自治会輸送の運行を開始
久利地区で取り組んでいた自治会輸送のエリアを大屋地区まで拡大 R3.4

R3.8 「久利・大屋地区小さな拠点推進協議会」を設立 R3.8

今後の計画 Our Planning

1. 生活交通の確保

- 持続可能な仕組みの検討
- 推進組織の法人化(稼ぐ仕組みとリンクした持続可能な組織づくり)

2. 生活支援の環境整備

- 地域住民との交流による子どもの居場所づくりと見守り
- 高齢者等への買い物支援サービスの実施 ● 多世代交流・多機能拠点施設の整備

3. 助け合いネットワークの構築

- 防災意識の向上、災害時の避難・見守り体制の整備
- 高齢者等の生活支援ボランティア「手ごし隊」、「おたすけ隊」の取組拡大
- 鳥獣害対策として、猟師の担い手の育成・組織化

